



嬉泉の新聞 第49号 2002年(平成14年)7月発行(年3回発行)

発行所=社会福祉法人嬉泉

東京都世田谷区船橋1-30-9(〒156-0055) TEL 03-3426-2323

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~kisen/> E-mail:kisen@kisenfukushi.com

発行人=石井哲夫

編集人=小山裕子

「児童精神科医として自閉症と関わる」

医療法人正史会 大和病院 精神科医 渥美 真理子

初めての自閉症との関わりは、東海大学病院の精神科外来でした。診察室で見る子ども達の行動は理解できず、自閉症の行動療法を行っていた心理室のグループの方々には指導法を教わって手探りで診断をしてきました。その後横浜の療育センターの診察室に、常勤として勤め、乳幼児期の自閉症児を診断し、通園療育で幼児期の変化をみる機会がありました。1歳半健診で経過観察になった子ども達は、自閉症の傾向をはっきり示していましたが、親がそのような認識を持つことは出来ない時期であり、いつ障害のことを告知するか、障害認知をどう扱っていくかが大きな課題でした。精神科学では、素因と環境という古典的な考え方があり、個体の生来性の問題と環境の影響が、精神疾患の発症にどのように関連するかという議論がなされ、自閉症発症に関しては、初期には育て方の問題がクローズアップされ、後に脳機能の障害すなわち子どもの素因が病気をひきおこすとの見方が確立されました。しかし、実際に自閉症児の発達をみると、養育環境に大きな影響を受け、また養育も子どもの状態に影響されるということを、認めざるを得ませんでした。子どもの月齢が小さいほど、親の情緒的働きかけは重要であり、誤解を恐れなくて言えば、情緒的つながりを土台に認知的な発達が促進されると言ってもよいような症例を多く見ました。

この子ども達は私たちの所属する世界を理解できないのであり、だからこそいっそう身近な人の働きかけが、子どもと世界をつなぐことになると思われました。児童期の親の養育、障害児施設や幼稚園・保育園での療育は、障害のある子どもを私たちの世界につなぐために必要な生育環境なのです。障害認知とは、子どもが違うのだということを理解し、その子に相対していくのだという心構えをもつことなのだと思います。

昨年、袖ヶ浦のびろ学園、ひかりの学園の顧問医として学園の入所者を見るようになりました。彼らは、障害が重く療育の困難な症例ですが、生育歴のどこかで本人に合った生育環境が与えられず、障害と環境が合わなかったと思われる症例が多いというのが実感です。このような複雑な問題を持つ子ども達の受入れ施設は少なく、家族の苦悩は学園に来るようになって日の浅い医師にもよく伝わります。学園では自閉症に必要な生活環境の構造化を行っていますが、重視しているのは、人間的な関わりです。彼らは情緒欠如ではなく、情緒障害であり、傷ついているのは彼ら自身であるという認識が学園の療育の基底にながれ、必要とする情緒的なかわりの枠組みを、スタッフが与えようとしているのだと感じます。(袖ヶ浦のびろ学園・

袖ヶ浦ひかりの学園 顧問医)

社会福祉援助論

石井 哲夫

— その12 —

支援費のことを考える(その1)

このところが国の社会福祉改革は、しゃかりきで進んでいく状況を呈している。これで社会福祉改革はうまくいけばよいが、と祈るような気持ちでいるのは私一人ではあるまい。私の持論は前から少しも変わっていないが、どうも思うようにはなっていない。もちろんわが国の福祉制度には問題があつて、それを修正することには異論はないが、今までしてきたことで、よかつたことまでないがしろにすることは非常に不経済であつて、誰が責任を持つてこの改革の見届けをするのが気にかかるところである。一頃評価されてきた民間社会福祉事業についても、頑張つてそれなりの成果を上げてきたところをキチンと認めて、そのよいところを取り上げて広めるようにすることは出来ないもので

あろうか。その上で、本当に手をかけなければならぬところを取り上げて、少しでも手厚くしていくことが出来ないものであろうか。措置制度を契約制度に移行していくために一里塚として「支援費制度」を始めることになったが、本当にこれまでの措置制度における問題が点検されて、その上を行くような制度を作り上げることが出来るものであろうか。否、こんな他人事を言つてはいられず、何としてもこの改革を勉強して、よりよく運営されていくための尽力をしなければならぬ。今回から折に触れて、この支援費に関する問題指摘と建設的な提言を行ってきたい。

まずここで支援費を決定する仕組みについて、ごく素朴な意見を呈しておきたい。

障害を持つている人の支援費を

考える場合、まず援助する人が時間的に拘束されることを考えることが大切であらう。特に援助される人が、援助する人の要求にすぐに対応してくれなかったり、素直に対応できないで、時間をかけなければならぬ様な時などは、援助者の気遣いとか、体力という心身のエネルギーの量的なものを計量しなければならぬ。ところが、どのような気遣いや手をかけたらよいかわかりにくい障害者がいた場合、まず、いつまで傍についていることになるかの見通しがつきにくいのである。このような不定期的な援助を必要とする場合には、支援費についてどのような判断基準を設けるものであろうか。

このところ、国が絞りに絞つてきた支援費の基準を見て、ここまですりきつた苦勞はよく分かるが、ここから先、実際にこの基準表をもとにして判定をしていく人がどうすることになるのかかわかりにくいのである。

日常生活に大きな困難があつても、本人にはその現実的な認識が無く、「大丈夫だよ」とか「出来るよ」と言つた場合は、それを信じてよいものか。また、本人が十

分話す力がなければ、親や、施設職員の代弁を聞くことになるが、その代人たちの言うことで、必要な手のかけ方を判断出来るものであろうか。例えば、親や、施設職員が「大変で、大変で、ものすごく手がかかる。」と言っている場合でも、他の人が賢明な対処が出来る場合もあるし、逆に「大丈夫。何とか落ち着いてやれる。」などと言つたりしても、他の人には代われない場合もあつて、その調整的な計算をして支援費を決めることが出来るものであろうか。このように、支援費は援助者本人の主観に基づいて算定するものであるだけに、「大変、大変」と言っている親や職員の元にいれば、支援費が沢山来ても、それでよい支援費が出来るということにはならない場合も出てくるであらう。反対に、手のかかる状態の利用者に対して、精一杯適切な努力して、よくしている親や職員には、支援費が少しか行かなくなると、努力してよくしようとしていく人が増えていくかないことになる。これは間違つた分析であらうか。こういう制度の行く先を考える人がいてほしいのである。

私たちの世田谷からの発信

すこやか園の保育

ー四年目を迎えて

津留 明子

すこやか園は、六月一日で開園して丸三年が過ぎました。当初、全く「保育園」の経験のない職員が大部分でのスタートで、試行錯誤の日々でした。二年、三年と過ぎるうちに職員も「保育園」とはこういうものだ実感し、日々成長していく子ども達と関わりながら、自分達は、目の前の子ども達に何をしてあげられるかを考え、実践しようと努力してきました。

すこやか園で大切にしていることは、「一人一人を大切に育てること」であり、その子の個性を認め、一人一人が自信を持って『自分』が発揮できるように援助することです。特に、乳児期のきめ細かな個別対応は不可欠だと考えています。例えば離乳期に、厨房と

協力、食品の軟らかさ、刻みの細かさ、ミルクや冷凍母乳の量、与え方や時間にまで個別に対応しています。

昨年0歳児クラスでそれらの対応を経験したTちゃんが、転園することになり、転園先では個別対応は無理だと言われたお母さんは、とてもがっかりしていました。Tちゃんは、離乳食の進み方がゆっくりで、アレルギーの除去食も行っていたのでなおさらのこと。すこやかでは、当然の個別対応が他では難しいのだと初めて実感したと、お母さんは話してくれました。

大人が、子ども一人一人の個性を認めることは、子どもの中でもそれぞれをありのまま受け止め、認め合うことに繋がると思っています。「風の子（三、四、五歳の混合クラス）」に昨年度まで障害のあるK君がいました。日々の生活の中での触れ合いや、個別に関わる職

員の対応を通して、K君が風の子の中でごく自然にその存在を確かなものにしてきました。

風の子が公園でF保育園とリレーをする機会があり、双方の混合チームを二つ作り競争しました。K君がいるチームが負けると「あの子（K君）がいると負けるからもうやらない。」と言うF保育園の男の子がいました。でも風の子さん達は誰がいても関係なく、自分自身が頑張っていることに集中し、二度目もやりたいと言うのを見て、K君のことを自分達の仲間としてあたり前に認めていることを感じました。

私たちの保育は、まだ発展途上ですが自信が持てるよう日々努力し、また私達が大切にしていることが今後子ども達の育ちにどう表れていくのか見守りたいです。



『とらのこ』さんのおやつ

作品販売について

阿部 文

おおらか学園では、昨年度から子どもの生活研究所の玄関前で利用者が作ったビーズ・ドライフラワーアレンジメントの作品の販売、機織りの作品・手漉きの和紙などの展示を行っています。

その作品を見て、買ってくれる人や、「こんな作品を作れないかしら？」との声を寄せてくれる人もいて、学園の利用者もそれを参考にしたり、また季節やイベントに合わせてものを職員と一緒に考えながら作品作りに励んでいます。

研究所の玄関で作品を買ってくれる人に、職員と利用者が接客に行くこともあります。お客さんにちょっとドキドキしながら「ありがとうございます」と話したり、金額を伝えお金を受け取ったりと、職員にとっても、利用者にとっても新鮮な体験になっています。これからも作品販売を通して、お客さん利用者、職員がもっと近づいていけるようにいろいろな工夫をしながら、頑張っていきたいと思っています。（おおらか学園職員）

私たちの 赤塚からの発信

生活援助サービスについて

佐瀬 美穂

『授産施設』は、福祉的就労の場を提供し、一般就労をめざして、利用者の皆さんは日々熱心に働いています。生活形態は単身アパート生活、生活寮、きょうだい・親との同居など様々です。在籍年数の長い利用者程、仕事に対する自信とプライドを着々とつけていきます。しかし、彼等と接している中で感じるのは、仕事への自信はいつでも、ある一定の所で伸び悩む傾向にあるという事です。仕事の上では他の利用者の面倒を見てくれる方でも、それ以外の事となると途端に内弁慶になってしまいます。

それは、年一回の楽しみとして毎年出かける旅行先でも感じます。例えば、浴場で体を洗うのに苦労していたり、所在なさに旅館内

を歩いたりする様子を見ると、意外な印象を覚えます。

利用者に尋ねると、保護者と同居の方は、自宅に帰れば食事は上臈据臈、楽しみと言えばテレビを見るだけの生活をしている方が意外に多く、生活体験や生活力の乏しさを感じます。

そこで、欲張りな我が授産「はばたき」ではアンケート調査をし、平成11年より「生活援助サービス」を行うことにしました。利用者には、「自分で生活を作る楽しさ」を体験してもらうことで、仕事以外の場面でも自信をつけ、より主体的に暮らしてもらいたいという職員側の願いがありました。

アンケート調査の結果から最も要望の多かった、「入浴」「身だしなみ」「買い物」「調理」「プール」「交通機関を利用するの外出」を主として実施しています。

「入浴」は、地域にあるスーパ

銭湯へ出かけます。洗体や洗髪の技術援助とあわせて、リラックスして過ごす大切さを味わうことも目的の一つとなっています。「身だしなみ」は、おしゃれには関心があるけれども清潔感とのバランスがうまくとれない方に、マニキュアや毛穴パック等の小道具を利用して楽しく意識できるよう援助するものです。「買い物」は、必要な物のおつかいを依頼する場合から、利用者自身が欲しい物の購入相談や実現までと様々です。

「調理」は、利用者の中でも、いづれ自活する為には必要だという意識の高いサービスで、自宅での応用を目指しています。「プール」は、ダイエットや健康管理を目的としています。中には楽しさとされている方もいます。「交通機関を利用するの外出」は、保護者と行動されることの多い方に、路線図や駅構内の看板の見方、切符の購入、乗換え等、表示されている情報の拾い方を主に伝えています。

また、いづれのサービスもお金の使い方や、言葉への理解、対人関係の持ち方等に様々な工夫を要します。そこで利用者の状態に応じて、サービスとは別の個別援助も

合わせて行っています。こうして考えると、どのサービスも互いにリンクしている部分があり、かつ生活上必要なノウハウであることがわかります。このような当り前の体験を積んでいくことで利用者が生き生きとし、積極的な発言がみられるようになってきています。

一方、利用者のニーズにあったこれらのサービスは、授産施設の枠から大きく越える為、職員側の負担も大きく、継続することの難しさをしばしば感じています。しかし、様々な体験から自信をつけ、伸びやかに日々を過ごしている利用者の姿を目にすると場の提供は当然必要です。今後は施設の中だけにとどまらず、地域にその場を求めていくことも視野に入れ、サービスを展開していきたいと考えています。

(授産施設職員)



きれいになったね

私たちの 袖ヶ浦からの発信

作業棟リニューアル

竹田 富義

昨年度から取り組んできた受注作業としての部品の解体作業は、両学園利用者の作業として定着しています。電動ドライバーを使う人、プレス機を改造した機械を使い部品の分別を行なう人…と作業内容もバラエティーになり、「選択的作業」の一翼を担っています。選択的作業は「単に作業種を選ぶ」ということではなく、利用者が自発的、積極的に自分の作業を行なうことです。自分から作業場に来て、自発的に作業を始める、そういう利用者が増えてきました。今年度、更なる展開を目指して作業棟を大々的にリニューアルしました。作業棟のフロアー全部を解体作業にあて、解体のいろいろな工程を行なえるようにしました。



作業棟での解体作業風景

個々の利用者に合った作業が展開されています。

現在、利用者の作業スピードが速くて、職員は作業の準備、納品等に追われています。それに伴い、作業収入も増えてきました。利用者の励みにもなっています。会社の方々にも多大なる支援と理解をいただき、たいへん嬉しく思っています。

今後、さらにどう展開していくのか、社会との接点をどう発展させていくのか、ということが課題だと思っています。

(袖ヶ浦ひかりの学園職員)

行事を終えて

上林 大輔

袖ヶ浦のびろ学園、袖ヶ浦ひかりの学園では年に約六回ほどの様々な行事を行います。

今年度、最初の行事として四月二十六日に「春を楽しむ会」という行事を行いました。まず、行事の大事なポイントは、いかにして利用者が楽しい時間を過ごせるかを考えることです。

この「春を楽しむ会」では、利用者が会に参加しているという意識をもてるようにと、各クラスにそれぞれに独創的な鯉のぼりを作ってもらいました。(当日はあいにくの雨だったのですが)、体育館の幅いっぱいに吊るした鯉のぼりは巨大扇風機の風にあおられ、雄大に、気持ちよさそうになびいていました。それを見た利用者の方々も、とてもよい笑顔で自分たちの作った鯉のぼりを満足そうに眺めていました。

ていました。

同じこの会の中で、餅つきも行ないました。各クラスから選出した数名の代表者で餅をついたのですが、代表者以外の利用者もつきたいと、餅つきの周りに集まって来る方がいるほどでした。そのように、率先して自分も参加しようという意識が見られ、あいにくの雨でしたが、利用者にとっても印象に残り満足のいったと思われる行事が行なえたと思います。

今回の雨の中の行事を生かし、利用者の方々の最高の笑顔が次の行事でも見られるような、そんな全員参加の行事を、作っていかれたらと思います。

(袖ヶ浦のびろ学園職員)



「春を楽しむ会」でのお餅つき

嬉泉トピックス

今後の企画の予定をお知らせいたします。社会福祉法人嬉泉を色々な角度からご理解いただける機会になると思います。皆様のおいでを心からお待ちしております。

◆療育講座「自閉症を支援する人の心構え」

講師…石井哲夫
会場…世田谷区桜丘区民セン

ター

日時…7月15日(月)

参加費…無料

…自閉症の障害特性への理解を深めることと共に、自閉症児が生きて生活するために支援する人の「心」が必要である…

◆連続専門講座

「自閉症の理解と支援」

・第3回(7月23日・火曜日)

テーマ…行動障害や問題行動について

講師…袖ヶ浦ひかりの学園 沼倉 実

・第4回(8月20日・火曜日)

テーマ…家庭支援について

講師…嬉泉 奥村幸子

・第5回(9月24日・火曜日)

テーマ…高機能自閉症・アスペルガー症候群を知ろう

講師…子どもの生活研究所

会場…いずれも、子どもの生活研究所 柏木理江

受講料…1回2000円と

資料代1000円

対象…施設職員・教師・保育士など自閉症の支援に

実際に携わっている方

…自閉症を理解し適切な支援を行う専門性を養うために必要なことをテーマに取り上げて、5回の連続講座として企画したもの。い

ずれも仕事の後に受講できるように夜6時から8時に開講…

◆第19回

自閉症実践療育セミナー

テーマ…自閉症への理解から援助を広げる

講師陣…炭谷 茂・清水康夫

山崎晃資・石井哲夫他

日時…8月1日(木)

8月3日(土)

会場…全社協・灘尾ホール

受講料…20,000円

(3日間)

…高機能自閉症の早期発見と早期療育・強度行動障害ケーススタディ等…

※いずれの講座・セミナーとも要予約

問い合わせ・お申込みは

子どもの生活研究所・電話

(03・3426・2323)

◆第38回嬉泉バザー

・「掘出し物市」10月12日(土)

鳥山区民センター前広場

(京王線千歳鳥山下車)

・「出会いと交流」10月13日(日)

子どもの生活研究所にて

(小田急線千歳船橋下車)

平成13年度

社会福祉法人 嬉泉

寄付者名簿

(敬称略・順不同)

湯浅 正・田中雄一・山田美和子・小原ナツ子・吉原 貞・竹内昭子・工藤邦英・鈴木佳子・村田 操・時永康男・中村三男・大山勝地・賀戸文彦・小野数子・佐藤良人・待井和江・高田昇一・齋藤 穂・二木俊彦・片村浩一・内田泰代志・山本博明・池上嘉信・水口和恵・木村元正・木村珠江・菊川明雄・土谷 新・小林陽子・山岸陽子・綱川省三・田村 匡・水島和夫・山口 潔・工藤成一・田辺和夫・秋山信靖・黒林美江・原 京子・野田康生・荒井恒夫・早瀬 進・新妻主計・納土育子・井出守安・浜ノ國利夫
日本保育研究会・千歳丘教会
嬉泉後援会・松原けやき寮
株式会社トキオ・北沢優申会
恵泉女学園中学校信和会
富士火災ふれ愛倶楽部
富士火災海上保険株式会社
世田谷区赤十字奉仕団
社会福祉法人東京都共同募金会
(左頁に続く)

平成13年度 事業報告

社会福祉法人 嬉泉

1) 理事会並びに評議員会の開催状況

回数	開催日	議 事 内 容
1	13.5.23	・12年度事業報告 ・12年度決算 ・諸規程改正
2	13.9.19	・補正予算 ・定款変更 ・諸規程改正 ・利用者預り金規程の制定
3	13.12.14	・補正予算 ・定款変更 ・諸規程改正 ・職員宿舎規程の制定
4	14.3.27	・補正予算 ・14年度事業計画 ・14年度当初予算 ・定款変更 ・諸規程改正 ・千葉県監査指摘事項の改善報告 ・貸借対照表の訂正 ・園長人事 ・理事、監事の選任

2) 施設整備等

民間保育所非常通報装置整備事業

263千円

(内訳) 世田谷区補助金

263千円

3) 社会に向けての活動

①第18回自閉症実践療育セミナー (日本自閉症協会との共催)

テーマ『自閉症の研究と実践を結ぶ』

平成13年8月21日～23日 全社協灘尾ホール

②第18回自閉症治療教育実践講座 (主催)

テーマ『自閉症児者へのトータルケアプラン』

平成14年2月8日～9日 須藤福祉センター袖ヶ浦他

③連続専門講座全4回 (主催)

テーマ『自閉症の理解と療育』

平成13年5月～8月 子どもの生活研究所

④療育講座 (主催)

テーマ『自閉症がもたらした二つの世界～行動障害と芸術～』

平成13年7月4日 桜ヶ丘区民センター

⑤専門講座その1 (主催)

テーマ『自閉症の療育基礎講座』

平成13年9月17日 子どもの生活研究所

⑥専門講座その2 (主催)

テーマ『高機能自閉症、アスペルガー症候群を知ろう』

平成14年2月28日 子どもの生活研究所

⑦「嬉泉の新聞」の発行

第46号 (6月発行)、第47号 (1月発行)、第48号 (3月発行)

⑧インターネット・ホームページの運営

内容; 事業紹介、石井所長からのメッセージ、心のケアマニュアル他

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~kisen/>

⑨第37回嬉泉バザー

平成13年10月28日 烏山区民センター前広場、子どもの生活研究所

⑩第24回嬉泉祭りバザー

平成14年2月24日 須藤福祉センター袖ヶ浦

⑪心身障害者 (児) 入所施設サービス点検調整委員会運営事業

袖ヶ浦のびろ学園・袖ヶ浦ひかりの学園において、以下5名のオンブズマンを

財産目録

平成14年3月31日現在

社会福祉法人 嬉泉

資産・負債の内容	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	
現金	402,187
預金	315,805,062
未収金	7,916,383
前払金	5,382,381
その他の流動資産	454,000
流動資産合計	329,960,013
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
建物	1,083,994,048
土地	581,600,000
基本財産合計	1,665,594,048
(2) その他の固定資産	
建物	71,777,148
構築物	2,225,374
車両運搬具	9,359,455
器具及び備品	25,274,437
土地	170,741,375
権利	399,000
投資有価証券	6,398,962
人件費積立預金	29,800,000
修繕費積立預金	12,200,000
備品等購入積立預金	6,500,000
その他の固定資産	54,202,247
その他の固定資産合計	388,877,998
固定資産合計	2,054,472,046
資産合計	2,384,432,059
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	56,965,697
預り金	15,212,426
流動負債合計	72,178,123
2. 固定負債	
設備資金借入金	317,240,000
退職給与引当金	54,202,247
固定負債合計	371,442,247
負債合計	443,620,370
差引純資産	1,940,811,689

委嘱し、サービス評価と苦情受付を実施。

氏名	推薦区分	職 業
村田保太郎	関係団体	白梅学園短期大学教授
山田美和子	関係団体	元全国社会福祉協議会職員
高原 武	関係機関	東京都立墨東養護学校校長
石原 敦夫	保護者会	伊藤忠商事社員
斎藤 博文	地域	元袖ヶ浦市社会福祉協議会職員

⑫アトリエAUTOSの活動

- ・アトリエAUTOS作品展（第4回）

平成13年8月21日～8月27日 ジャンセン美術館（京橋）

- ・アートフレンズ展（第2回）

平成13年5月8日～13日 千葉市美術館

- ・ほっとinふなばし芸術祭

平成14年2月5日～10日 船橋市民ギャラリー

- ・「トトナカの声」LA VOZ TOTONACAN

平成13年10月15日～23日 セッションハウス・ガーデン（神楽坂）

- ・白梅学園短期大学学園祭

平成13年10月27日～28日 白梅学園短期大学（小平）

⑬自閉症対応シッター養成事業

ポピンズ・コーポレーションと提携し、自閉症対応シッターの養成事業として基礎講座と現場実習を行い、合格者に「自閉症対応シッター初級認定証」を発行した。

4) 通常事業一覧

事業の種類	施設種別	名 称	施設長氏名	利用者定員	職員数
第一種 社会福祉事業	知的障害児通園施設	子どもの生活研究所 めばえ学園	大岩香代子	30(20)	15
	第二種自閉症児施設	袖ヶ浦のびろ学園	山根美江子	60	58
	知的障害者更生施設	袖ヶ浦ひかりの学園	川相智史	44	47
	知的障害者授産施設（通所）	東京都板橋区立 赤塚福祉園	友田篤	40	12
	知的障害者更生施設（通所）	東京都板橋区立 赤塚福祉園	友田篤	50	40
	知的障害者更生施設（通所）	おおらか学園	石橋悦子	20	13
第二種 社会福祉事業	家庭児童相談事業	子どもの生活研究所 こぐま学園	石井哲夫 小山裕子		6
	知的障害者地域生活援助事業	グループホーム 春のひかり	石井哲夫	4	2
	保育所	すこやか園	島野雅子	36	19
公益事業	心身障害者緊急保護事業	東京都板橋区立 赤塚ホーム	友田篤		15

貸借対照表

社会福祉法人 嬉泉

平成 14年 3月 31日現在

資産の部		負債の部	
流動資産	330,519,013	流動負債	72,737,123
現金預金	316,207,249	短期運営資金借入金	559,000
有価証券	0	未払金	56,965,697
未収金	7,916,383	預り金	15,212,426
貯蔵品	0	前受金	0
立替金	0	仮受金	0
前払金	5,382,381	その他の流動負債	0
短期貸付金	559,000	固定負債	371,442,247
仮払金	0	設備資金借入金	317,240,000
その他の流動資産	454,000	長期運営資金借入金	0
経理区分勘定	0	長期預り金	0
「資産	2,054,472,046	退職給与引当金	54,202,247
基本財産	1,665,594,048	長期特定引当金	0
建物	1,083,994,048	負債の部合計	444,179,370
土地	581,600,000	純資産の部	
基本財産特定預金	0	基本金	1,219,246,970
その他の固定資産	388,877,998	基本金	1,219,246,970
建物	71,777,148	国庫補助金等特別積立金	424,883,706
構築物	2,225,374	国庫補助金等特別積立金整備時分	424,883,706
機械及び装置	0	国庫補助金等特別積立金償還補助	0
車輛運搬具	9,359,455	その他の積立金	48,500,000
器具及び備品	25,274,437	移行時特別積立金	0
土地	170,741,375	人件費積立金	29,800,000
建設仮勘定	0	修繕費積立金	12,200,000
権利	399,000	備品等購入積立金	6,500,000
投資有価証券	6,398,962	その他の積立金	0
長期貸付金	0	次期繰越活動収支差額	248,181,013
公益事業会計元入金	0	次期繰越活動収支差額	248,181,013
収益事業会計元入金	0	(うち当期活動収支差額)	44,834,041
措置施設繰越特定預金	0	純資産の部合計	1,940,811,689
移行時特別積立預金	0		
移行時減価償却特別積立預金	0		
人件費積立預金	29,800,000		
修繕費積立預金	12,200,000		
備品等購入積立預金	6,500,000		
その他の固定資産	54,202,247		
資産の部合計	2,384,991,059	負債及び純資産の部合計	2,384,991,059

総括資金収支計算書

(自)平成 13年 4月 1日 (至)平成 14年 3月 31日

法人名 社会福祉法人 泉

勘定科目	合計	本部	めばえ学園	おおいち学園	子どもの生活 研究所	すこやか園	袖ヶ浦のひろ 学園	袖ヶ浦ひかり の学園	春のひかり	赤塚福祉 (更生)	赤塚ホーム	赤塚福祉 (厚産)
収入	22,950,890	0	0	0	22,950,890	0	0	0	0	0	0	0
相談事業収入	2,197,662	0	0	0	0	0	0	0	2,197,662	0	0	0
利用料収入	479,386,004	0	46,447,280	44,170,488	0	0	218,524,240	170,243,996	0	0	0	0
運営費収入	45,454,000	0	0	0	0	0	45,454,000	0	0	0	0	0
私的契約利用料収入	242,000	0	0	0	0	0	242,000	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常経費補助金収入	758,392,735	6,384,800	14,450,000	40,911,405	3,159,000	42,981,780	129,870,750	128,187,000	3,504,000	220,808,000	77,147,000	92,989,000
寄附金収入	32,910,538	30,719,216	100,000	493,000	500,000	100,000	401,147	547,175	0	50,000	0	0
雑収入	34,805,494	18,711,054	394,500	181,359	795,770	129,500	4,034,058	8,194,234	12,460	1,280,847	764,264	307,348
貸倒金収入	2,404,014	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,404,014
借入金利息補助金収入	3,954,832	3,954,832	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取利息配当金収入	697,138	610,478	3,042	1,994	1,094	3,523	23,746	21,946	673	17,242	6,504	6,896
貸倒損失繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経理区分間繰入金収入	16,110,500	14,110,500	0	0	2,000,000	0	0	0	0	0	0	0
経常収入計	1,399,505,807	74,490,880	61,394,822	85,758,246	29,406,754	88,910,903	352,853,941	305,194,351	5,714,795	222,156,089	77,917,768	95,707,258
支出	982,486,043	5,898,331	49,576,503	70,910,892	26,478,983	65,446,494	267,162,396	221,048,884	1,733,942	142,009,142	62,632,763	69,557,713
人件費支出	128,580,035	21,384,242	7,381,339	8,610,466	4,255,977	8,979,645	20,687,563	20,455,815	1,022,414	17,631,508	8,455,969	11,715,097
事務費支出	193,203,769	0	3,707,455	5,926,446	706,764	7,403,766	53,072,794	49,177,145	1,052,338	58,051,440	0	14,105,621
事業費支出	5,860,348	5,860,348	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金利息支出	16,110,500	2,000,000	0	0	0	2,534,200	4,000,000	3,800,010	0	1,101,800	1,572,690	1,101,800
経理区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常支出計	1,326,210,695	35,142,921	60,655,297	83,447,804	31,441,724	84,364,105	344,922,753	294,481,854	3,808,694	218,793,890	72,661,422	96,480,231
施設整備等資金収支差額	73,295,112	39,347,959	729,525	2,310,442	-2,034,970	4,546,798	7,931,188	10,712,497	1,906,101	3,362,199	5,256,346	-772,973
収入	262,500	0	0	0	0	262,500	0	0	0	0	0	0
施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等収入計	262,500	0	0	0	0	262,500	0	0	0	0	0	0
支出	3,243,999	405,153	115,500	0	228,375	367,500	732,000	984,186	411,285	0	0	0
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
元入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等支出計	3,243,999	405,153	115,500	0	228,375	367,500	732,000	984,186	411,285	0	0	0
施設整備等資金収支差額	-2,981,499	-405,153	-115,500	0	-228,375	-105,000	-732,000	-984,186	-411,285	0	0	0
収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金元金償還補助金収入	2,495,000	2,495,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立預金取崩収入	5,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	4,000,000	1,000,000	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務収入計	7,495,000	2,495,000	0	0	0	0	0	0	0	4,000,000	1,000,000	0
支出	27,912,000	27,912,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金元金償還金支出	27,912,000	27,912,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立預金積立支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流動資産評価減等による資金減少	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務支出計	27,912,000	27,912,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動資金収支差額	-20,417,000	-25,417,000	0	0	0	0	0	0	0	4,000,000	1,000,000	0
準備金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計	49,896,613	13,525,806	614,025	2,310,442	-2,263,345	4,441,798	7,199,188	9,728,311	1,494,816	7,362,199	6,256,346	-772,973
前期未支払資金残高	203,346,972	94,623,235	8,764,730	299,459	4,032,125	6,910,840	18,919,249	27,505,365	3,706,631	24,500,519	5,571,184	8,513,625
当期未支払資金残高	253,243,585	108,149,041	9,378,755	2,609,911	1,768,780	11,352,638	26,118,437	37,233,676	5,201,447	31,862,718	11,827,530	7,740,652

總括事業活動收支計算書

(自)平成 13 年 4 月 1 日 (至)平成 14 年 3 月 31 日
法人名 社会福祉法人 清泉

勘定科目	合計	本部	めばえ学園	おもしろが学園	子どもの生活研究所	すこやか園	袖ヶ浦のびろ学園	袖ヶ浦ひかりの学園	春のひかり	赤塚福祉団(更生)	赤塚福祉団(更生)	赤塚福祉団(更生)
事業収入	22,950,890	0	0	0	22,950,890	0	0	0	0	0	0	0
相模事業収入	2,197,662	0	0	0	0	0	0	0	2,197,662	0	0	0
利用料収入	479,386,004	0	46,447,280	44,170,488	0	0	218,524,240	170,243,996	0	0	0	0
措置費収入	45,454,000	0	0	0	0	45,454,000	0	0	0	0	0	0
運送費収入	242,000	0	0	0	0	242,000	0	0	0	0	0	0
私的契約利用料収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常活動補助金収入	758,392,735	6,384,800	14,450,000	40,911,405	3,159,000	42,981,780	129,870,750	126,187,000	3,504,000	220,808,000	77,147,000	92,989,000
経常補助金収入	32,910,538	30,719,216	100,000	493,000	500,000	100,000	401,147	547,175	0	50,000	0	0
新附金収入	34,805,494	18,711,054	394,500	181,359	795,770	129,600	4,034,058	8,194,234	12,460	1,280,847	764,264	307,348
雑収入	2,404,014	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,404,014
繰越事業収入	2,495,000	2,495,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金元金償還補助金収入	6,510,810	6,510,810	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
引当金戻入	26,695,445	1,129,242	3,134,308	4,299,120	497,764	3,020,290	8,063,070	6,551,651	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	1,414,444,592	65,950,122	64,526,088	90,055,372	27,903,424	91,927,670	360,893,265	311,724,056	5,714,122	222,138,847	77,911,264	95,700,362
事業活動収入計	982,456,043	5,898,331	49,576,503	70,910,892	26,478,963	65,446,494	267,162,396	221,048,884	1,733,942	142,009,142	62,672,767	69,557,713
人件費支出	128,580,035	21,384,242	7,381,339	6,610,466	4,255,977	8,979,645	20,687,563	20,455,815	1,022,414	17,631,508	8,455,969	11,715,097
事務費支出	193,203,769	0	3,707,455	5,926,446	706,764	53,072,794	49,177,145	1,052,338	58,051,440	0	14,105,621	0
減価償却費	66,547,297	5,714,592	7,655,724	10,345,077	639,665	7,540,811	16,981,117	16,662,097	1,008,214	0	0	0
徴収不能額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
引当金繰入	1,573,505	1,573,505	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業活動支出計	372,360,649	34,570,670	68,321,021	93,792,881	32,081,389	89,370,716	357,903,870	307,343,941	4,816,908	217,692,090	71,088,732	95,378,431
事業活動収支差額	42,083,943	31,379,452	-3,794,933	-3,737,509	-4,177,965	2,566,954	2,989,395	4,380,115	897,214	4,446,757	6,822,532	321,931
収入	3,954,832	3,954,832	0	1,994	1,094	3,523	23,746	21,946	673	17,242	6,504	6,896
受取利息配当金収入	697,138	610,478	3,042	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会計単位間繰入金収入	0	0	0	0	2,000,000	0	0	0	0	0	0	0
経理区分間繰入金収入	16,110,500	14,110,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業活動外収入計	20,762,470	18,675,810	3,042	1,994	2,001,094	3,523	23,746	21,946	673	17,242	6,504	6,896
借入金利息支出	5,860,348	5,860,348	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経理区分間繰入金支出	16,110,500	2,000,000	0	0	0	2,534,200	4,000,000	3,800,010	0	1,101,800	1,572,690	1,101,800
投資有価証券売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会計単位間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業活動外支出計	21,970,848	7,860,348	0	0	0	2,534,200	4,000,000	3,800,010	0	1,101,800	1,572,690	1,101,800
事業活動収支差額	-1,208,378	10,815,462	3,042	1,994	2,001,094	-2,530,677	-3,976,254	-3,778,064	673	-1,084,558	-1,566,186	-1,094,904
経常収入差額	40,875,565	42,194,914	-3,791,891	-3,735,515	-2,176,871	26,277	-986,859	602,051	897,887	3,362,199	5,256,346	-772,973
施設整備等補助金収入	262,500	262,500	0	0	0	262,500	0	0	0	0	0	0
施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	262,500	262,500	0	0	0	262,500	0	0	0	0	0	0
特別収入計	262,500	262,500	0	0	0	262,500	0	0	0	0	0	0
基本金組入額	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却損・処分損	41,524	41,524	9	8	8	0	18	6	2	0	0	0
国庫補助金等特別積立金積立額	262,500	262,500	0	0	0	262,500	0	0	0	0	0	0
特別支出計	-1,041,524	-1,041,481	9	8	8	262,500	18	6	2	0	0	0
特別収支差額	-9	-9	-8	-8	-8	-8	-18	-6	-2	0	0	0
当期活動収支差額	39,834,041	41,153,433	-3,791,900	-3,735,515	-2,176,879	26,277	-986,872	602,045	897,885	3,362,199	5,256,346	-772,973
前期繰越活動収支差額	203,346,972	94,623,235	299,469	4,032,125	1,855,246	6,937,117	18,919,249	27,505,365	3,706,631	24,500,519	5,571,184	8,513,625
当期末繰越活動収支差額	243,181,013	135,776,668	4,972,530	-3,436,046	1,855,246	6,937,117	17,932,372	28,107,410	4,604,516	27,862,718	10,827,530	7,740,652
基本金取崩額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本金組入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の積立金取崩額	5,000,000	5,000,000	0	0	0	0	0	0	0	4,000,000	1,000,000	0
その他の積立金積立額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期繰越活動収支差額	248,181,013	135,776,668	4,972,530	-3,436,046	1,855,246	6,937,117	17,932,372	28,107,410	4,604,516	27,862,718	11,827,530	7,740,652

嬉泉の

Q

&

A

お題其ノ参

成年後見②利用編

事務局長 石井 啓

Q四…法定後見制度を利用するには、どのようにすればよいのですか？

A四…まずは、家庭裁判所に「後見開始の審判の申立て」をしますが、その前に書類など手続き等に疑問または不明な点のある場合は、「家事相談」を利用し、説明を受けることができます。また、「後見」「保佐」「補助」のどの類型で申立てをするのか、そして誰を候補者とするのか、あらかじめ申立てをする側で決めておく必要があります（もっとも、これは「鑑定」や「審判」により変わる可能性もあります）。申立ては、本人の住所地を所轄する家庭裁判所に対して行います。住所地とは、原則として本人の住民票が登録されているところを指します。

その後、家庭裁判所で「後見

開始の審判」が行われる訳ですが、それに先立って審判を行う家事審判官（裁判官）が「審問」を開いて本人や後見人等候補者に会って実情や本人の意見を聞いたり、調査官が調査をしたりします。さらに必要に応じて、本人の事理弁識能力（判断能力）の鑑定や診断を行った上で、本人との利益相反のおそれのない、信頼性の高い個人または法人を後見人等として選任し、後見が開始されます。

なお、法定後見人等が選任され、後見人等による援助が開始されるに当たっては、「後見登記等に関する法律」に基づいて、成年後見人等の権限などが、家庭裁判所の嘱託により東京法務局に登録されることになっていきます。これによって、成年後見人等を「成年後見監督人等」が、さらにはその成年後見監督人等を家庭裁判所が監督し、本人の人権侵害を防止します。

Q五…法定後見人等が選任されるに当たっては、複数の人や法人が選ばれることができますか？

A五…できます。旧民法では、後見人等は一人でなければならぬと規定されていたのが、新しい制度では、必要に応じて複数の成年後見人等が選任されることができるとされています。具体的には、財産管理については弁護士に、身上監護に関する契約等の事務については社会福祉士または親族に分担させる必要がある場合や、本人の日常生活上の法律行為に関する後見等の事務については同居の親族に、本人の遠隔地所在の財産管理の事務については同所所在の親族に分担させる必要がある場合などがこのケースに当たります。

また「自然人（個人）」ではなく、例えば福祉の事務に関して専門的な知識・能力などを備えた「法人」が後見人等に選任されることもできます。その法人として当面想定されているのは、社会福祉協議会、福祉関係の公益法人、社会福祉法人などです。

〔参考文献〕『成年後見制度の利用の手引き』千葉県社会福祉協議会

(右頁より)

瑞穂工業技術研究所
株式会社第一サプライ
東洋英和女学院短期大学宗教部
(平成13年4月から14年3月)
ご協力ありがとうございました。
今後も社会福祉法人嬉泉への支援を心からお願ひいたします。

編集後記

平成15年度からの支援費にからんで、自閉症の人への支援度を考える機会が増えてきた。これまでも、色々な機会に自閉症の人達の生きにくさを感じてきたが、一つの尺度でその大変さを測ろうとするこの難しさを改めて感じる。本人の大変さは勿論である。また、それだけではなく、障害特性ゆえで本人には悪気がない行為だとしても社会的に受け入れがたいことであったり、過密な環境の中では迷惑行為として映ってしまうことの多い自閉症の人と共に暮らしている家族がいる。その人達を含めて支えられるのは、制度の整備だけではなく、肝要なのは「人」なのではないか、と当たり前に過ぎる事を改めて感じるこの頃である。

(編集人 小山)

ひかりのタイムス

独立第43号

「アトリエ・アウトス」からの発信

戸屋 隆

① 出会い

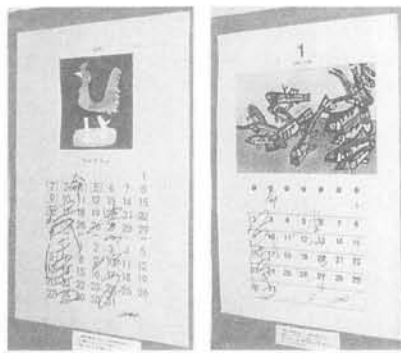
芥川賞作家、柳美里さん原作のベストセラー小説「命」「魂」「生」（小学館刊）が東映によって映画化されることになり、九月に公開されます。アトリエ・アウトスの持田想一さん、浜ノ園武生さんの絵四点が、映画のテーマにふさわしいという評価を得て、この映画で重要な場面である、柳美里さんの住居兼仕事部屋や病室に飾られることになりました。

映画の美術担当の方が、図書館でたまたまアウトスの作品集「AUTOS—こころの色・心のかたち—」（小学館刊）を見た：ということから「出会い」が始まりました。

アウトスの作品が「命」「魂」「生」のテーマにふさわしい：という評価は偶然ではないと思っています。

います。

映画を観てチェックしてみたい！



右の写真は、美里さんが出産のために入院していた病院の病室シーンに飾られた持田さんの「ツマイサキ」と浜ノ園さんの「にわとり」の絵を使ったカレンダー。主演の江角マキコ（柳美里役）さんと豊川悦司（東由多加役）さんのお二人にサインをいただきました。

② デビュー

五月二十八日～六月二日まで、千葉市美術館で「アートフレンズ展」が開催されました。アウトスの作品や台湾やフィリピンの方の作品等、多くの芸術作品が展示されました。

また、今年度よりアウトスで創作を始めた、秋山良江さんの作品も展示されました。今回、秋山さんの関心がある「手」をテーマにしたユニークな作品が完成しました。絵画では彼女が大事にしている手袋「マコ」（彼女が名付けた）シリーズ、陶芸では芸能人の手をイメージして制作した作品です。秋山さんは想像力が豊かで、「マコ」に対する詩も添えています。今後の活動に注目です。



「緊張したっ!!」
テープカットを行った
市川さんの弁

さらに、オープニングパーティーには、市川浩志さんと参加をし、市川さんはアーティストを代表してテープカットを行いました。二人とも、ご馳走を食べ、作品を見て、記念写真を撮り：と、パーティーを満喫した様子でした。（袖ヶ浦ひかりの学園職員）



「マコ」シリーズの前での秋山さん
彼女の詩が添えられています

「マコ」
つきあって十年になる大好きなマコ
きみたちはてぶくろだけど
きみたちといると私は気がらくになる
たまにしか洗たくはしないけど
いつまでもはなさないよ
とてもかわいいマコたち

秋山良江